

大学自己評価部会だより

第1号 (平成19年9月)

アンケート調査結果を報告します

九州歯科大学では大学評価・学位授与機構へ大学機関別認証評価を平成21年度に申請し平成22年度に評価を受けます。大学が評価を受ける準備の一環としてアンケート調査を行っております。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

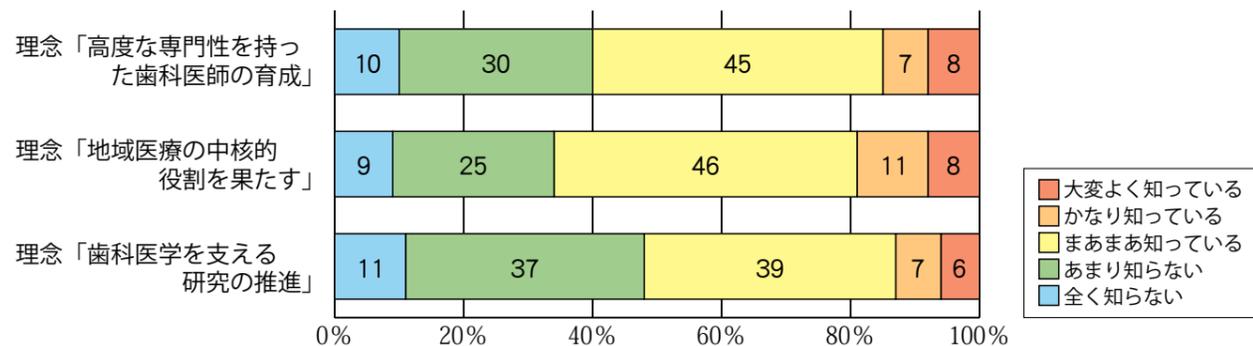
1) 大学の理念の周知度

平成19年4月に、学部学生2・3・4・5・6年生と大学院生と研修医の方々にアンケート調査をお願いしました。その結果、理念を全く知らない方・またはあまり知らない方が40%ほどいました。私たちの大学の理念を覚え、この理念を基によりよい大学を築くためみなで力を合わせましょう！

大学の理念

- ① 高度な専門性を持った歯科医師の育成
- ② 地域医療の中核的役割を果たす
- ③ 歯科医学を支える研究の推進

大学の理念の周知度

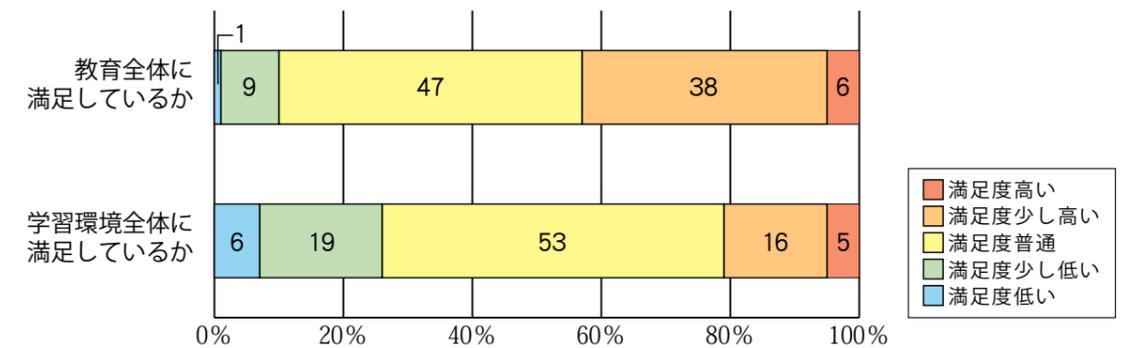


2) 教育と学習環境の満足度

教育に、たいへん満足か少し満足している方が43%と比較的多いのに対して、学習環境にたいへん満足か少し満足している方は21%しかいませんでした。

新本館ができた今後は、学習環境が劇的に改善されると予想されます。楽しみです。

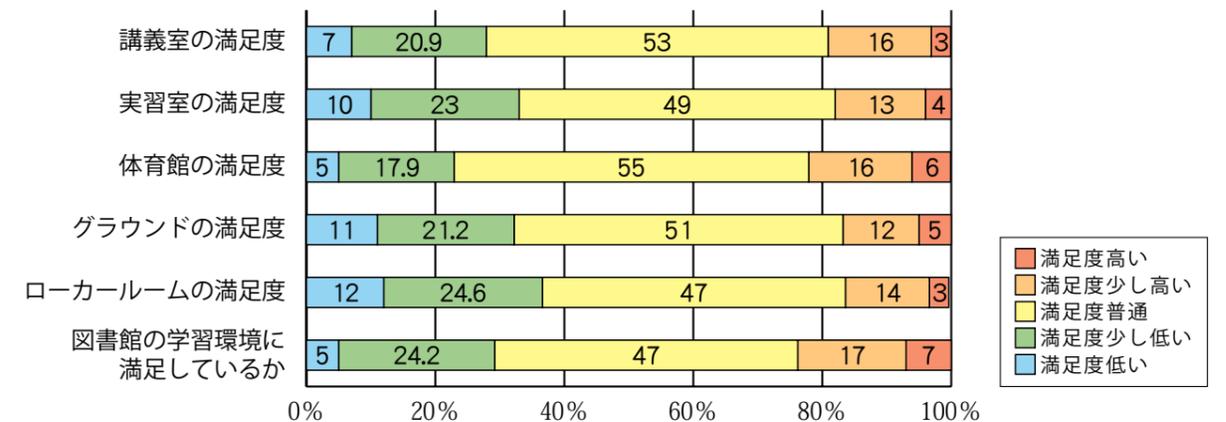
学生の学習環境と教育の全体的満足度



3) 学習環境個々の満足度

講義室、実習室、体育館など個々の学習環境に対する満足度を調べてみても、たいへん満足か少し満足している方は17~24%と少数でした。本館ができたので次回調査の満足度はあがるかな？

個々の学習環境の満足度



大学自己評価部会だより

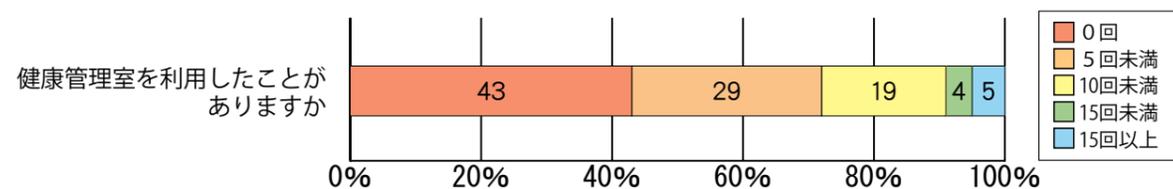
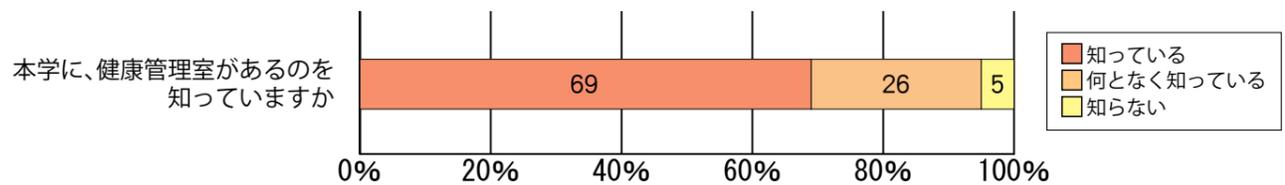
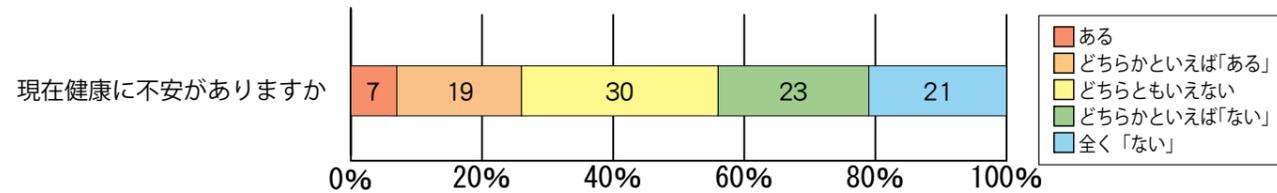
第2号 (平成19年11月)

アンケート調査結果を報告します

九州歯科大学では、平成19年4月に学部学生2～6年生と大学院生および研修医の方々にアンケート調査をお願いしました。今回は、学生の実体を把握する目的で行った心身の健康に関する結果を報告致します。今後とも皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

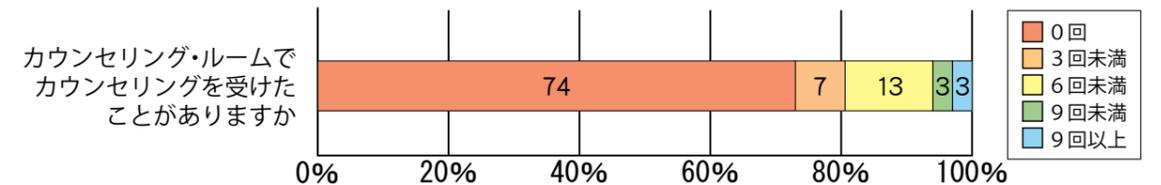
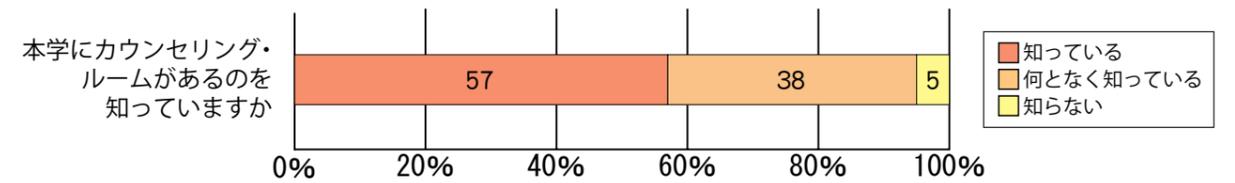
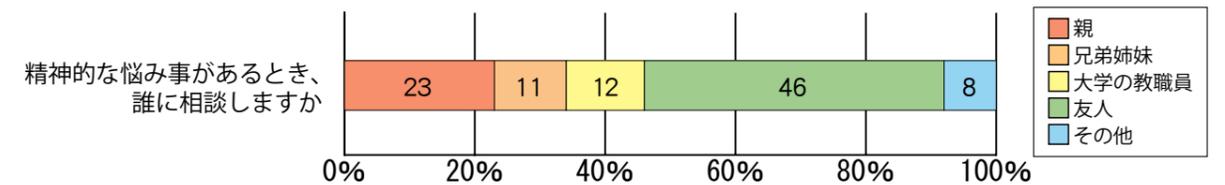
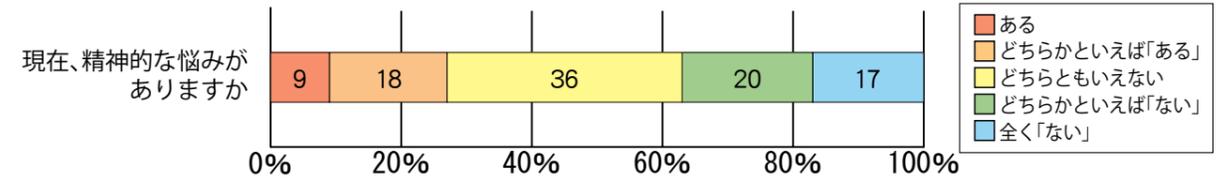
1) 身体の健康と健康管理室の周知度

約半数は健康だと思っていますが、26%が健康に何らかの不安を感じています。実際に通院加療中の方も10%程度います。これらの数字は、各学年ほぼ共通していました。健康管理室の周知度は高く、「何となく知っている」まで含めると95%に達します。また、実際に健康管理室を利用したことのある割合は57%に達し、約10%は年間10回以上利用しています。



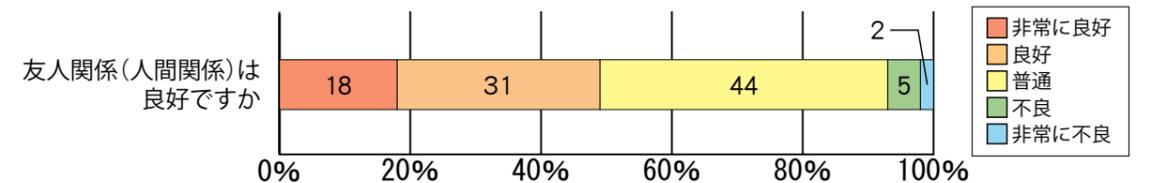
2) 心の健康とカウンセリング・ルームの周知度

現在、27%の人が精神的な悩みを感じていますが、37%はほとんど悩みがないと答えています。悩みの相談相手の約半数は「友人」で、各学年ともほぼ同様の傾向でした。「大学の教職員」への相談は12%で、上学年になるに従って減る傾向を示しました。カウンセリング・ルームの周知度は健康管理室と同様に高く、利用者は26%でした。



3) 友人関係

悩みの相談相手で最も高かった友人について、その関係は約50%が「良好」であり、「普通」まで入れると90%以上に達しました。しかも、上学年になるに従って、「良好」と感じる割合が増加する傾向にありました。



大学自己評価部会だより

第3号 (平成20年1月)

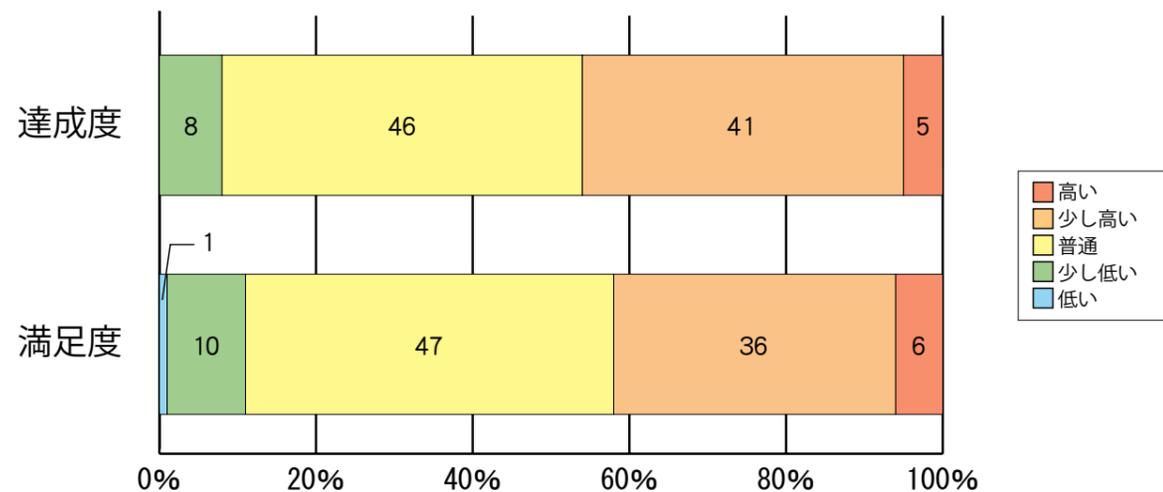
アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、学部学生2・3・4・5・6年生の方々にアンケート調査をお願いしました。今回は、皆さんが受講されている講義や実習の達成度および満足度、九州歯科大学の教育に関する満足度に関する調査結果を報告いたします。

1) 講義の達成度および満足度

講義の達成度が高いか、少し高い方が46%でした。同様に講義の満足度が高いか、少し高い方が42%でした。来年度からカリキュラムが新しくなるので、講義の達成度および満足度はあがるかな？

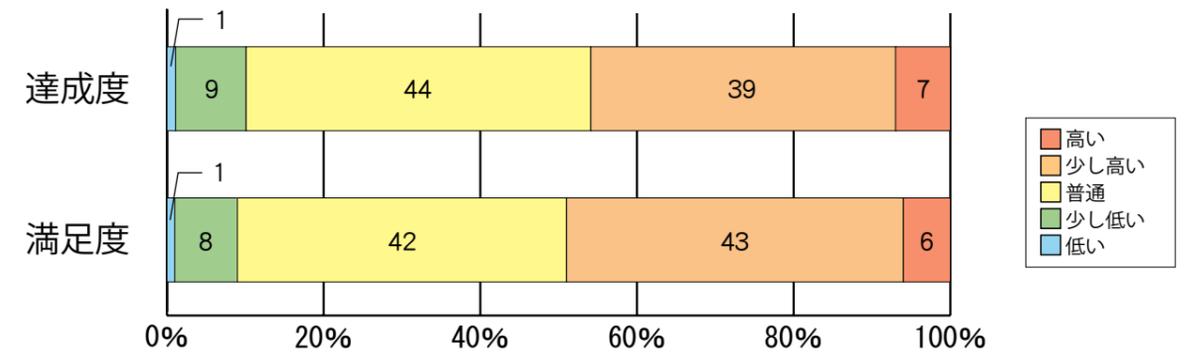
講義の達成度および満足度



2) 実習の達成度および満足度

実習の達成度が高いか、少し高い方が46%でした。同様に実習の満足度が高いか、少し高い方が49%でした。新本館ができて最新の機器を使った実習が行われています。今後は実習の達成度および満足度が劇的に改善されると予想されます。楽しみです。

実習の達成度および満足度

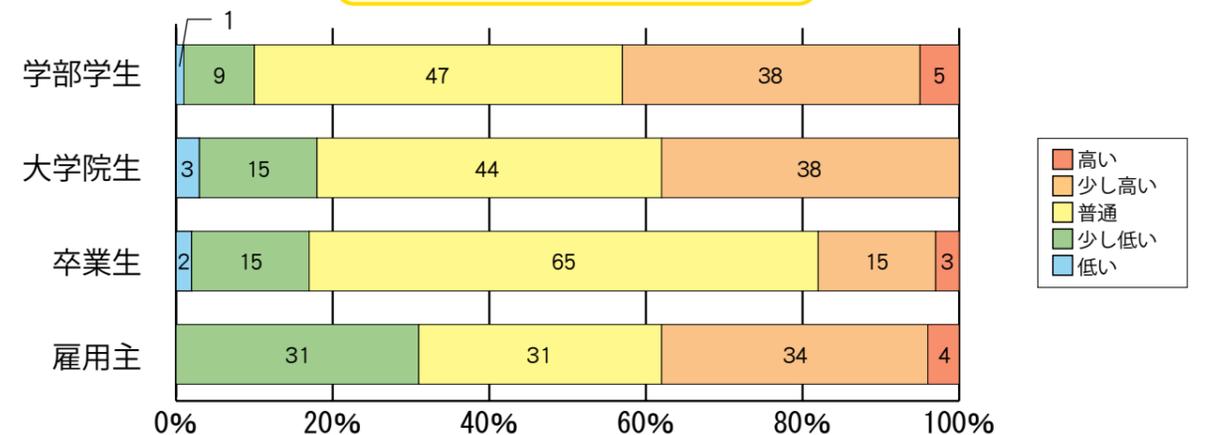


3) 九州歯科大学の教育に関する満足度

学部学生、大学院生、卒業生、卒業生の雇用主を対象として本学の教育に関する満足度を調べました。その結果、満足度が高いか、少し高いの割合が最も高いのは学部学生(43%)で、逆に最も低いのは卒業生(18%)でした。満足度が低いか、少し低い割合が最も高いのは雇用主(31%)で、逆に最も低いのは学部学生(10%)でした。

今後は教育改善の努力によって、本学の関係者の方々の満足度を上げていかなくてはなりません!!

本学教育への満足度



・この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kyoumu@kyu-dent.ac.jp へお願いします。

大学自己評価部会だより

第4号 (平成20年3月)

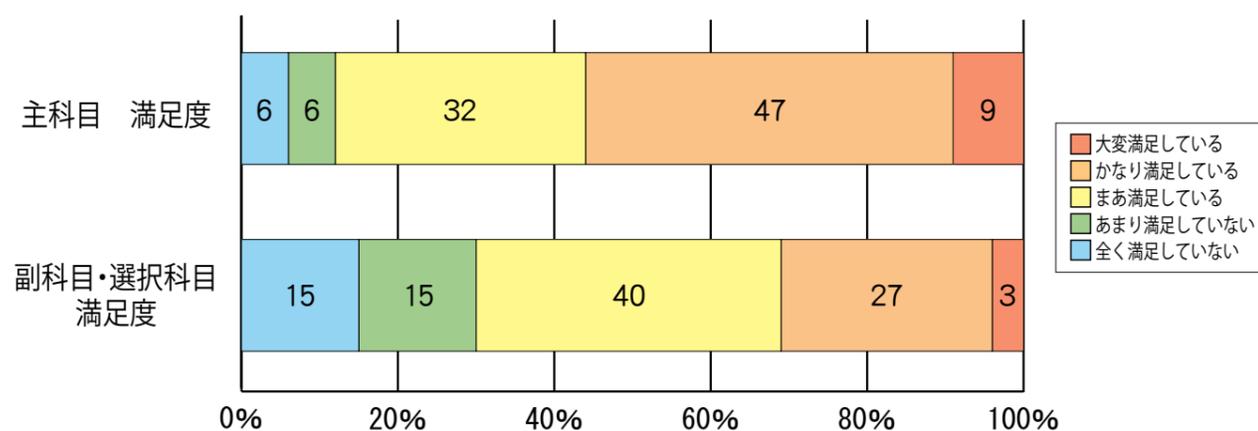
アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、大学院生2・3・4年生の方々にアンケート調査をお願いしました。調査結果の一部を報告いたします。

1) 主科目、副科目・選択科目の満足度

大学院生は学位申請までに、所属する分野が主宰する主科目20単位と、副科目および選択科目を10単位取得しなければならないことになっています。主科目では、大変満足しているかかなり満足している方が56%と比較的多いのにに対して、副科目・選択科目に対しては大変満足しているかかなり満足している方が30%だけでした。現在、大学院では副科目・選択科目の充実を図っております。次回の調査では満足度はあがるかな？

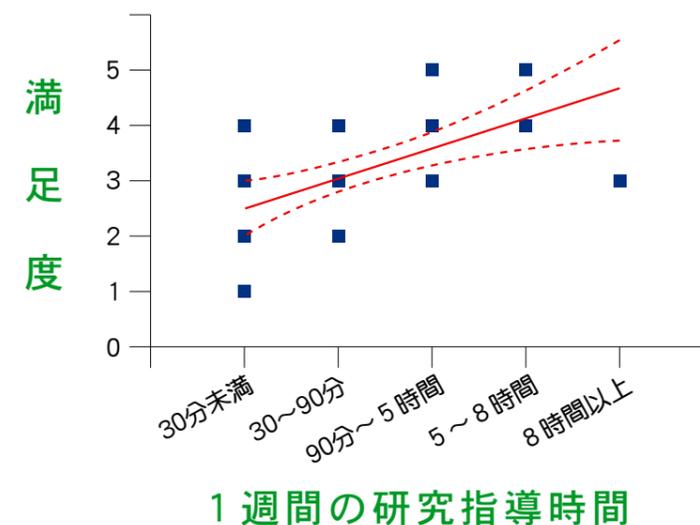
主科目、副科目・選択科目の満足度



2) 研究指導時間と研究の満足度の相関

研究指導時間が長くなると研究に対する満足度が高くなるという結果がでました。

研究指導時間と研究の満足度の相関



3) 臨床従事時間と研究時間の相関

臨床に従事している時間が長くなると研究に費やす時間が短くなるという結果がでました。大学院の大きな目的は、歯学博士の学位を取得することですから、臨床に従事する時間と研究に従事する時間とのバランスが必要です。

臨床従事時間と研究時間の相関

